

1. 《武蔵国一之宮は、小野神社と氷川神社》

神社は、記紀（「古事記」と「日本書紀」）に登場する神様や歴史上の偉人を祀っています。記紀の神様は、女神と男神、陸神と海神に大別され、その絡みの中で神話が展開されていきます。女神は、天照大神を筆頭とするメグミの神様であり、水の神様も女神です。男神は、スサノウに代表されるチカラの神様です。

さて、古代に「武蔵」という国がありました。現在の東京都・埼玉県・神奈川県の一部です。この武蔵国における神社のランクを見てみると、上位の一之宮は、多摩市の多摩川沿いにある「小野神社」（京王線聖蹟桜ヶ丘駅近く）。主祭神は、男神「天ノ下春命（アマノタハルノミコト）」で、名前の如く、天から地上に降りて土地開発を行った神様です。

また、さいたま市大宮区にある「氷川（ヒカリ）神社」も、力を付けて後に一之宮に昇格します。主祭神は、男神「素戔男尊（スサノノミコト）」。

この神社は、荒川・利根川筋に分布しています。出雲系の氏族が治水事業を行ったと考えられ、「氷川」は「斐伊川（ヒイガリ）」と同音だったとする説もあります。

武蔵国は、多摩川流域の扇状地と、荒川・利根川流域の大宮台地に、上位ランクの神社を配し、チカラの男神を祀っていたのです。

写真は、小野神社（東京都多摩市一の宮 1－18－8：細見撮影）



飛鳥寺 587年

浅草寺 （伝）628年

689年 飛鳥浄御原令

701年（大宝元） 大宝律令 日本の国号

708年（和銅元） 秩父で和銅発見

710年（和銅3） 平城京遷都

712年（和銅5） 古事記

720年（養老4） 日本書記

深大寺 （伝）733年

741年（天平13） 国分寺建立の詔

752年（天平勝宝4） 奈良の大仏開眼供養

大山寺 （伝）755年

757年（天平宝字元年） 養老律令

一之宮 10世紀から11世紀の国司神拝を起源として12世紀に確立